

事務事業名		田沼総合窓口課公金等収納事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり				担当組織	担当部	市民生活部	担当課	田沼総合窓口課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり				担当係	住民係	担当課長名	山口 みどり	
	施策	2 持続可能な財政運営の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 歳入に見合った歳出構造への転換				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
	予算細事業名					任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H16年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		事業分類		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野市民等が納める税金等(公金)の収納及び市税等納付書の再発行。			佐野市民等の税金等(公金)を収納し、指定金融機関に納付。市税・水道料等の納付書再発行。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市税・水道料等納付書再発行件数	件	2,370	2,062	2,400			
			公金収納件数	件	2,304	2,616	3,000			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
納税者 市有施設等利用者で利用料金の発生する利用者。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			田沼庁舎取扱・納税者	件	2,304	2,616	3,000			
			有償で施設を利用する利用者の件数	件	49	49	130			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
合併に伴う分庁舎方式においても、市民や納税者が以前と変わらない公金の納付を可能にする。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			申請書受理件数/申請書件数	%	100	100	100			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
歳入については、市税の収納率の維持向上や市有財産の有効活用など自主財源の確保に努める。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			収納率(現年度課税分)	%	98.7	98.9	98.5	98.5	98.5	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	5	6	6			
のべ業務時間	時間	629	629	629				
人件費計(B)	千円	2,447	2,479	2,479	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,447	2,479	2,479	0	0		

事務事業名	田沼総合窓口課公金等収納事務	担当部	市民生活部	担当課	田沼総合窓口課	担当係	5223
-------	----------------	-----	-------	-----	---------	-----	------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	なし	合併による分庁舎となり、他庁舎所管の市納付金の納付書再発行及び指定金融機関派出が不在時間帯に公金等の収納を行なうことになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	なし	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	「現状維持」により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民の納める税金等の公金を確実かつ迅速に収納することは、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	分庁舎のため、市民サービスとしての窓口業務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	分庁舎であり、総合窓口課による市民サービスは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	分庁舎のため所管課に代わり市民サービスとして行っており、総合窓口課での成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 佐野総合窓口課納付書等交付事務・葛生総合窓口課公金等収納事務 分庁舎による各庁舎の窓口業務であるため、統合等はできない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費はないため削減余地はない。また、他の事務との兼務であり正確かつ迅速に行うため人件費削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	納付書の再発行と公金収納事務であり、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	分庁舎による事業のため継続するが、田沼総合窓口課としては、所管課のみの扱いになった場合は廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			